

## 2018～2019年度 事業計画

### 会員増強委員会

委員長	狩尾元重		
副委員長	小谷弘幸		
委員	松浦充恭(兼)	沖松勉	
	渡辺真理子(兼)	山岡嗣也(兼)	
	平尾圭司(兼)	田北邦保(兼)	
	山本勝広(兼)		

#### ◎活動目標

昨年中期ビジョン60名を達成して次期目標65名を目指す適性な会員選考と積極的な会員増強に取組み、退会防止に努めて全会員の協力を得て純増を図る。

#### ◎事業計画

1. 「会員増強・新クラブ結成推進月間」に適切なプログラムを実施。(8月)
2. 職業分類表の見直しと、未充填になっている職業分類の充填に努める。(6月)
3. 今年度の増強目標、3名を目指す。男性2名、女性1名、若い会員の入会を促進する。(随時)
4. 目標65名を目指して、入会候補者紹介者名簿を作成し、全会員で入会を勧める。(随時)

### 公共イメージ委員会

統括委員長	松浦充恭
副委員長	花房薫(兼)
委員	木戸正博(兼)

#### ◎活動目標

クラブが地域社会で実施している奉仕活動が人々の認識と理解を深めロータリーの公共イメージと認知度が向上する様に努める。

#### ◎事業計画

1. IT、SNSの活用促進を図る。
  - (ア) ホームページの活用
  - (イ) Face Bookの活用
  - (ウ) メール連絡網の活用全会員のメールアドレスを登録し活用促進を図る。
2. My Rotaryへの登録。  
全会員の登録と活用促進を図る。
3. 公共イメージと認知度向上。  
奉仕プロジェクト統括委員会との連携による「好ましい公共イメージの推進」を図る。  
具体的には、ポリオ撲滅におけるロータリーとロータリアンの役割の周知を図り「世界を変える行動人キャンペーン」を推進して頂きたい。  
※ロータリーの最優先事項は「ポリオの撲滅」である。

## クラブ管理運営統括委員会

統括委員長 小松 繁 夫(兼)

### ◎活 動 目 標

クラブ管理運営統括委員会に所属する、出席、雑誌・会報、親睦（R 家族）活動、プログラム、ロータリー情報・研修委員会が各委員のもと会長方針をふまえ立案した活動目標や事業計画が確実に遂行されるよう努める。

### ◎事 業 計 画

1. 本年の、事業開始前に各関連委員長と1年間の活動に関して打合せ協議する。  
(5月15日)
2. クラブ三役、各所属委員長と定期的に会合を開き、事業計画実施状況を確認、検証を行い必要に応じて調整を図る。(随時)
3. 毎月第1例会にて「四つのテスト」唱和、第3例会にて「ロータリアンの行動規範」の唱和を奉仕プロジェクト統括委員会と協力、実施する。

## 出 席 委 員 会

委員長	木 戸 正 博
副委員長	三 條 佳 恵
委 員	高 松 良 子(兼)
	渡 辺 眞理子(兼)

### ◎活 動 目 標

例会出席は、ロータリー活動の基本である。

例会、地区大会、I.M、他クラブ例会等ロータリーの会合に出席することを奨励し、出席不良の原因を除去する。

### ◎事 業 計 画

1. 各々の例会の出席率を委員会が検討し、例会時に出席率を発表する。
2. メークアップの情報を提供し、メークアップを奨励する。(随時)
3. 地区大会、I.M、奉仕プロジェクト活動 等に出席するよう依頼する。(随時)
4. 前年度100%及び連続100%出席者を表彰する。(8月)
5. Eクラブに関する情報 等の出席率向上の為の情報提供をおこなう。(随時)
6. 出席率90%以上を目標とする。

## 雑誌・会報委員会

委員長 高木俊雄  
副委員長 奥先憲太郎  
委員 真鍋公昭(兼)

### ◎活動目標

「ロータリーの友」の購読を奨励し、クラブ会員がロータリー情報を取得しロータリアンとしての自覚を深めるよう努める。

### ◎事業計画

1. 「ロータリーの友」に掲載されている記事について例会で紹介する。(月1回)
2. 週報への投稿を依頼する。(随時)
3. 「ロータリーの友月間」には適切なプログラムを実施する。(9月)

## 親睦(R家族)活動委員会

委員長 大森栄作  
副委員長 田北邦保(兼)  
委員 海生俊史(兼) 奥原國雄  
藤本哲智 梶洋一郎  
高松良子(兼) 小谷弘幸(兼)  
渡辺真理子(兼) 山口信行  
山岡嗣也(兼) 後藤孝彦(兼)  
三條佳恵(兼) 山本勝広  
畑中秀之 遠藤 幹  
村上敏浩

### ◎活動目標

会員間の親睦、友好を一層深め魅力的なクラブ作り、豊かなロータリーライフを築き会員参加型例会及び、会員家族、地域の方々も含めた親睦の和を広げるクラブ活動を実施する。

### ◎事業計画

1. 納涼花火家族例会(7月28日)
2. 江田島・呉南 RC 合同観月例会(9月20日) …ホストクラブ 江田島 RC
3. 忘年家族例会(12月18日)
4. 花見例会(4月2日)
5. 最終例会(6月18日)
6. RI 第 2710 地区ガバナー杯 RC 親善野球大会への協力。(3月)
7. 県外親睦旅行の実施。(適宜)
8. 地区行事、社会奉仕行事の親睦活動行事等に参加協力。(随時)
9. 「ロータリー親睦活動月間」には、適切な親睦活動を推進する。(6月)

## プログラム委員会

委員長 垣谷 広明  
副委員長 岩岡 三十次  
委員 津立 宣正(兼)

### ◎活動目標

例会の充実性を図る為、有益かつ魅力あるプログラムを実施する。

### ◎事業計画

1. 会員卓話を通じ、会員間の相互理解を深められるプログラムを実施する。(随時)
2. ロータリーの特別月間・週間・日に応じたプログラムを実施する。(随時)
3. 地区大会、地区セミナー、地区 RYLA 等の地区行事報告プログラムを実施する。
4. ゲスト講師、外部講師による卓話、講演を実施する。
5. 会員間及び家族間の親睦を深める為、親睦（R 家族）活動委員会と協力し年間数回の夜間例会、家族例会、合同例会を実施する。

## ロータリー情報・研修委員会

委員長 和田 功(兼)  
副委員長 松浦 充恭(兼)  
委員 土岡 正和(兼)

### ◎活動目標

ロータリー情報に関する点では「ロータリーの友」「ガバナー月信」等を使用し機会ある毎に会員さん向け情報を提供し、ロータリーに対しての理解を深める。研修等の点については特に新会員さんに向けてのロータリーの（歴史・活動目的・存在意義・社会に対しての貢献）を広く理解して頂けるよう努める。

会員さんのロータリーに対しての知識を深めて頂き、且つ意識向上に繋げたい。

### ◎事業計画

1. 新入会員を対象に「情報集会」を開催。(随時)  
ロータリーの活動を理解して頂く。
2. 例会時にロータリーの情報を機会ある毎に提供する。(随時)
3. 地区 RLI 受講修了会員をディスカッションリーダーとして「RLI 方式」のクラブ例会を開催し「テーマ」に基づいた研修方式の例会を 2 回開催する。  
(10 月・4 月)
4. 地区 RLI 受講希望者を募り、推薦する。(適時)

## 奉仕プロジェクト統括委員会

統括委員長 平尾圭司

### ◎活動目標

奉仕プロジェクト統括委員会としての共同事業のミッションを上藤会長から頂いているので、各奉仕委員長の力を結集して事業の成功に寄与する。

目的は、ポリオ募金、公共イメージの向上、がん予防の啓蒙の3つです。これを「くれ食の祭典」でブース出店し、市民にアピールする。

### ◎事業計画

1. 奉仕プロジェクト共同事業として、ロータリーの①ポリオ撲滅募金②公共イメージの向上③がん予防の啓蒙を目的として、「くれ食の祭典」でブース出店する。  
(11月4日)
2. 各委員会の事業計画が円滑に実施できる様、支援する。(通年)
3. 毎月第1例会にて「四つのテスト」唱和、第3例会にて「ロータリアンの行動規範」の唱和をクラブ管理運営統括委員会と協力、実施する。

## 職業奉仕委員会

委員長	後藤孝彦		
副委員長	原豊		
委員	高木俊雄(兼)	沖松	勉(兼)
	小谷弘幸(兼)		

### ◎活動目標

個々の職業スキルを高め、以て社会奉仕に還元するという崇高な理念に基づき、これまで通りの活動を実施する。

### ◎事業計画

1. 会員の専門スキルを活かした、会員の健康診断の実施。(11~12月)
2. 会員の見聞を広めるための「職業奉仕月間」には「職場例会」を実施。(1月)
3. 地域社会の発展に貢献された方をお招きし、卓話と感謝状を贈呈する「優良職業人表彰」の実施。(3月)
4. 「がん予防推進」に関する啓蒙活動を「くれ食の祭典」にて実施する。(11月4日)
5. 「疫病予防と治療月間」には適切なプログラムを実施する。(12月)

## 社会奉仕委員会

委員長	山岡嗣也							
副委員長	遠藤幹(兼)							
委員	真鍋昭	古本幸三						
	山本清(兼)	野口清一(兼)						
	松浦充恭(兼)	石崎俊史(兼)						
	花房薫(兼)	大内基康(兼)						
	高松良子(兼)	津立宣正(兼)						

### ◎活動目標

奉仕プロジェクト統括委員会を中心とした、共同事業への協力、支援と、地域団体等の奉仕活動への参加、協力の実施。

### ◎事業計画

1. 奉仕プロジェクト統括委員会による共同事業「くれ食の祭典」の協力。(11月4日)  
(ポリオ撲滅募金、公共イメージ向上、がん予防推進 等)
2. 呉市老人クラブ連合会 共同事業「大和波止場清掃奉仕活動」の実施。(12月・5月)
3. 地域社会の発展に関連する10月の「経済と地域社会の発展月間」には、適切なプログラムを実施する。
4. 地域社会奉仕事業活動への協力、支援の実施。(随時)

## 国際奉仕委員会

委員長	土 岡 正 和				
副委員長	牛 窓 正 規				
委員	久 間 利 彦(兼)	幟 立 千 明			
	狩 尾 元 重(兼)	山 本 清 一			
	久 保 則 昭	野 口 清 勝			
	花 房 薫(兼)	住 原 藤 孝			
	舩 本 知 己	後 藤 孝 彦(兼)			
	山 本 勝 広(兼)				

### ◎活動目標

ロータリークラブが理想とする「世界平和」と「国際親善」を推進する為に、クラブとして個人として、適切な活動を実施する。

### ◎事業計画

1. アンヘルスノースロータリークラブとの友好 RC としての定期的な交流の継続。
2. 新たなグローバルプロジェクトを行なうためのリサーチの開始。(5月31日～6月2日)
3. 海外における災害への救護活動に対する資金援助。(随時)
4. ロータリー財団・米山記念奨学会の事業への協力。(随時)
5. 「基本的教育と識字率向上月間」、「平和と紛争予防/紛争解決月間」には、適切なプログラムを実施する。(9月・2月)

## 青少年奉仕委員会

委員長	大 内 基 康				
副委員長	景 田 博 文				
委員	山 岡 嗣 也(兼)				
	遠 藤 幹 幹(兼)				

### ◎活動目標

次世代のより良き未来を創造し、将来への足掛かりとなる様支援する。

### ◎事業計画

1. 地区「RYLA (下関市)」への参加。(5月18日～19日)
2. こどもミュージカル「ワンハート」の活動に協力、支援する。  
\*One Heart 2018 こどもミュージカル in 呉 (9月23日)  
呉市文化ホール 18:00～20:00 開催予定
3. インターアクト活動への協力。(随時)
4. ポリオ・プラスへの支援、障害者支援への寄付活動。(通年)
5. 各青少年活動への後援・支援。(通年)  
ボーイスカウト、呉市中学校野球選手権大会、呉地区少年剣道錬成大会、ワンハート等
6. 「青少年奉仕月間」には、適切なプログラムを実施する。(5月)



## インターアクト委員会

委員長	花房	薫	
副委員長	平本	禎輝(兼)	
委員	坪川	禮巳	神田耕作
	木戸	正博(兼)	

### ◎活動目標

清水ヶ丘高等学校インターアクトクラブのメンバーが、例会や各種奉仕活動を通して、自分で考えて行動する主体性と自主性をもって自己の完成を図り、他人の力になる活動や仲間作りを実践し、他人に対する思いやりと家族や仲間の大切さや他人の権利を尊重する考えを育て、個人的成功、地域社会の改善に向けて各自が責任を果たせるように努力することで、国際理解と親善を推進できるように、指導・協力を行う。

### ◎事業計画

1. 毎月1回のIAクラブ例会へのロータリアンの参加を要請する。  
(原則として第3火曜日)
2. RI第2710地区IA地区大会(広島・修道高校)への参加支援を行う。(7月28~29日)
3. IAメンバーによる呉本通花壇への植栽を実施する。(11月・6月)
4. 「世界インターアクト週間」において適切なプログラムを実施する。(11月)
5. 呉市交通遺児救済街頭募金活動に参加する。(1月)
6. RI第2710地区海外研修旅行への支援を行う。(3月)
7. 卒業生送別例会、新入生歓迎例会に参加する。(3月、4月)
8. クリスマス会(呉市手をつなぐ育成会)、呉こども祭でのIAメンバーの協力を支援する。(12月・5月)
9. IA指導者研修会に参加する。(6月)
10. 地区IA顧問教師懇談会に参加する。(適宜)
11. 生徒にボランティア証明書を発行する。(通年)
12. IAメンバーによる校内活動、各種奉仕活動への支援を行う。
  - 呉南RC主催の奉仕活動行事、例会行事への参加活動報告(9月)
  - 校内清掃奉仕・花壇植栽、学園祭での活動展示
  - 本通商店街での各種ボランティア等



## ロータリー財団統括委員会

統括委員長 田 北 邦 保

### ◎活 動 目 標

ロータリー財団の目的を理解していただく努力、財団への寄付協力。

### ◎事 業 計 画

1. 11月の「ロータリー財団月間」、3月の「水と衛生月間」、4月の「母子の健康月間」のプログラムの実施。
2. ロータリーカードの理解と普及。
3. 地区目標の「年次寄付」の達成への努力。
4. ポリオ・プラス委員会の協力とポリオ撲滅活動への寄与。
5. 国際奉仕委員会への協力支援とアンヘルスノース RC との新グローバルプロジェクトをより具体的に進めていく。

## ポリオ・プラス委員会

委員長	高 松 良 子		
副委員長	渡 辺 眞理子		
委 員	亀 本 興 紀	石 丸	學
	沖 本 恭 治		

### ◎活 動 目 標

ポリオ撲滅活動への理解と、寄付目標の達成に会員の協力、支援を求める。

### ◎事 業 計 画

1. 「ロータリー財団月間」にはロータリー財団統括委員会と連携し、ポリオ撲滅活動、寄付活動の最新情報を提供し理解を促す。(11月)
2. ポリオボックスを設置し募金をお願いする。(随時)
3. ポリオ撲滅活動を、公共イメージ委員会と協力しロータリーとロータリアンの役割の周知を図る為、会員全員に「END POLIO NOW」のバッチを配布し公共イメージアップを計る。(随時)
4. 地区ポリオ撲滅活動の目標を達成し、ロータリアンとしてポリオ・プラスへの理解、支援協力を実施する。(随時)

## 米山記念奨学委員会

委員長	津立宣正
副委員長	宇都宮昭憲
委員	三條佳恵(兼)
	西村英昭

### ◎活動目標

各種、勉強、研究のために、日本に在留している優秀な外国人留学生に対して奨学金を支給し、将来母国と日本の架け橋となり国際社会で活躍してもらうことを目的とする米山記念奨学会への、クラブ会員の理解、協力を深め寄付目標の達成に努める。

### ◎事業計画

1. 普通寄付を例年通り実施する。(通年)
2. 特別寄付を奨励する。(通年)
3. 10月「米山月間」、「ロータリー学友参加推進週間」には、米山記念奨学会の事業活動の理解と認識を深めるためのプログラムを実施する。

## ビジョン委員会

委員長	山本清		
副委員長	海生俊史		
委員	大須賀益治	坪川禮巳(兼)	
	加藤忠二	山上亀一郎	
	亀本興紀(兼)	木村法蔵	
	奥先憲太郎(兼)	平本禎輝(兼)	
	神田耕作(兼)	高木俊雄(兼)	
	原豊(兼)	久間利彦(兼)	
	岩岡三十次(兼)	幟立千明(兼)	
	狩尾元重(兼)	垣谷広明(兼)	
	大内基康(兼)	小松繁夫(兼)	
	土岡正和(兼)	松浦充恭(兼)	
	和田功(兼)		

### ◎活動目標

時代の変化にともなって変動するロータリー活動に対応するため長期計画目標を立案し、クラブの発展に貢献できるように活動する。

### ◎事業計画

1. 地区戦略計画委員会と連携・協力してクラブの発展に寄与する。
2. 「クラブの健康チェック」アンケートを実施し結果を分析した上で、クラブの活性化に貢献する。
3. 2016年規定審議会での決定事項とクラブ細則の勉強会を実施する。
4. 呉南 RC “50周年記念事業” の模索。

## 会場監督 (S.A.A) 委員会

委員長	石	崎	俊	史		
副委員長	平	本	禎	輝		
委員	小	谷	弘	幸(兼)	遠	藤
	村	上	敏	浩(兼)		幹(兼)

### ◎活動目標

呉南 RC の伝統に則り、例会がその使命を発揮できるよう設営し、気品と品格と風紀を保ち、秩序正しい例会が運営されるよう管理する。また、奉仕活動の原資となる基金への理解を頂き、円滑な活動ができるように資金を募る。

### ◎事業計画

1. 三役、各委員との連絡を密に取り、円滑な例会設営と運営を行う。
2. Box を設置してニコニコ、ペコペコ基金を募る。
3. 会員同士の交流が図れるよう、例会席の工夫を実行する。
4. 例会行事中は、気品と品格のある運営に努める。
5. 毎例会とも「禁煙例会」を実施する。
6. クラブ訪問者、来賓の方に細かく配慮した会場設営を行う。
7. 例会食について工夫する。

## 会 計

委員長	久	間	利	彦
副委員長	花	房		薫

### ◎活動目標

クラブ資金について、機動的かつ適正な予算を策定するとともに、年間を通じて厳正な予算の運営・管理を行う。さらに、正確な財務状況の把握に努め、理事会、例会で報告を行う。

### ◎事業計画

1. 三役および各統括委員会・委員会の事業計画に基づき、適切な年度予算を作成する。
2. 財務情報の正確な処理・記録を行うとともに、予算の執行状況を把握する。
3. 各統括委員会・委員会の実施する事業に関して、その経費が全体予算内で賄えるように、三役、理事会等で調整する。
4. 例会において、予算説明、決算報告を行う。
  - 予算説明（7月）
  - 上半期決算報告（1月）
  - 決算報告（8月）
5. 会計処理を外部に委託する。さらに、会計処理に関して内部での監査を依頼する。